

手賀沼流域

協働調査結果(平成25年度)

湧水

手賀沼流域の各湧水地点で、平成25年度に実施した春季・冬季の湧出量とパックテストによる硝酸性窒素濃度調査結果の平均値をまとめました。

【参加団体】

我孫子市環境レンジャー、印西市環境推進市民会議、大津川をきれいにする会、鎌ヶ谷・大津川を清流にする会、亀成川を愛する会、沼南手賀沼ボランティア会、白井の自然を考える会、緑水会

※五十音順

柏市、我孫子市、松戸市、印西市、鎌ヶ谷市、白井市、千葉県(事務局:千葉県環境生活部水質保全課)

”硝酸性窒素”とは…

硝酸性窒素は、水中では硝酸イオンとして存在しています。湧水の硝酸性窒素濃度が高い場合には、周辺の土壌等から、硝酸イオンが混入していると考えられます。硝酸イオンの負荷源としては、家畜のふん尿や生活排水に含まれるアンモニウムが酸化されたものや、農地の肥料等が考えられます。

地下水の環境基準は10mg/L以下(硝酸性窒素の分解過程でできる亜硝酸性窒素を含む)とされており、これを超えると好ましくありません。



No. 1 寺谷ツ



No. 5 都部 谷津田



No. 8 古新田435-5



No. 9 大森呑内



No. 2 大井小山台1488-2



No. 3 大井中ノ橋前145-1



No. 12 名内字下定戸谷



No. 15 平塚字榎台



冬期の硝酸性窒素濃度が10 (mg/L) を超える値を示した。

平成20年以降、冬季の湧水量が全調査地点の中で最も多い。

硝酸性窒素濃度が10 (mg/L) 以上と高い値で推移している。
 春期、冬期の硝酸性窒素濃度が0 (mg/L) を超える値であった。

春期の湧水量が全地点の中で最も多い。

【No. 9、No. 10、No. 11】
平成25年度追加調査地点

もっと知りたい人は…
 手賀沼水環境保全協議会
<http://www.tesuikyjo.jp/>



No. 6 佐津間山王台



No. 10 宗甫東割